

【実践報告】

岐阜大学ラーニングコモンズ 「アカデミック・コア」の成果と課題

増田 優, 青葉 絵里香, 塩田 真梨菜
岐阜大学教学事務部門学務部全学連携教育課

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響

アカデミック・コアとは

岐阜大学ラーニングコモンズ「アカデミック・コア」とは、学生が空きコマを活用しグループで意見共有しながら学習や課題解決に取り組む場として、岐阜大学中央図書館1階に設置している学習スペースである。このアカデミック・コアは、メインフロアと個室のグループ学習室に分かれており、学生が、ディスカッションやプレゼンテーションの練習などができるよう備品も充実している。平成27年のオープン以降、利用者数が年々増加傾向にあった。

新型コロナウイルス感染拡大による遠隔授業の導入

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり、岐阜県からの要請により、岐阜大学においても、4月6日（月）から4月19日（日）まで、附属病院を除く全部局を全館閉鎖し、原則として、建物への立ち入り禁止となった。令和2年4月10日が授業期間開始日となったが、同年6月3日まではe-Learningによって教育を実施した。

2. アカデミック・コアの運営方法の変更

座席数の変更

全館閉鎖期間が明けた後、こまめに喚起や消毒液の設置などの基本的な感染予防対策をしつつ座席数も大幅に減らすこととした。

オープン当初、メインフロアの座席数は4人掛けボックス席が7つ、可動式テーブル・椅子は130席、グループ学習室は、6～10人利用可能が2部屋、3～5人利用可能も2部屋だったが、令和2年5月からは、メインフロアの座席数を66席とし、一人用席を配置した。座席数は減

らしたが、自由に利用できるよう貸出用の椅子を設置した。グループ学習室は1人での使用のみ認めることとし、この措置によってオンライン授業やオンライン面接での利用者が増えた。

令和3年度から対面授業が再開したことにより、利用者が増えたため、令和4年度からは座席数をメインフロア88席、グループ学習室は6人利用可能2部屋、4人利用可能1部屋、2人利用可能1部屋に変更した。メインフロアも1人、2人用の座席配置を4～6人用の座席配置に変更したことにより雰囲気も変わり、話し合いをしているグループが増え好評である。

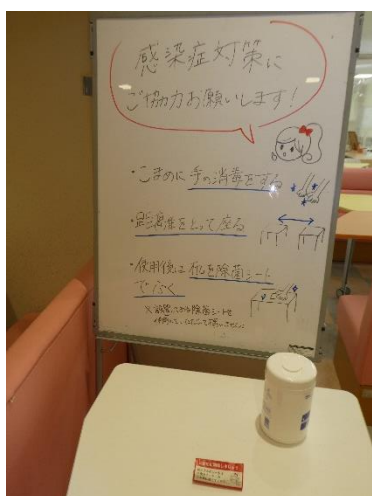


図1 感染予防の呼びかけ

動画配信による学習支援

学生スタッフによる学習相談は、閉鎖解除後も継続して実施していたが、従前から実施してきた、学生スタッフが企画から講師までを務めるイベントの開催は、一時中止し、岐阜大学の誰もが利用できる Microsoft Stream 上に『コア子ちゃんねる』を設置し、そこに学生スタッフが作成した動画を配信する形で学習支援を行った。

表1 『コア子ちゃんねる』の学習支援動画

作成日	タイトル
令和2年12月11日	【レポート】引用の書き方
令和3年10月4日	【英語】「習慣」の使い分け
令和3年12月8日	【分析化学】濃度計算 基礎編①
令和4年5月2日	【初年次セミナー】アカデミック・コアと図書館の利用方法
令和4年5月2日	【初年次セミナー】レポートの書き方講座

3. 課題への取り組み

利用者数

表2で分かるように、年々増加傾向にあった利用者数は、令和2年度に減少した。令和3年度からは授業方針が原則対面授業になったことで、学生スタッフによるイベントの再開、座席数の増設およびグループ学習室の複数利用の再開などにより、現在は、利用者数が戻りつつある。

表2 アカデミック・コア利用者数 令和4年11月1日時点

	月	火	水	木	金	合計	開室日数	平均/日
平成27年度	7,121	8,578	8,284	7,398	6,955	38,336	199	193
平成28年度	14,872	16,651	14,991	14,357	13,569	74,440	237	314
平成29年度	15,540	18,497	18,189	16,654	14,799	83,679	237	353
平成30年度	15,540	16,795	18,816	16,537	14,796	82,484	236	350
令和元年度	15,234	16,174	18,062	17,148	14,613	81,231	230	353
令和2年度	6,898	7,402	7,088	6,208	6,169	33,765	192	176
令和3年度	12,418	14,081	11,762	12,310	10,896	61,467	230	267
令和4年度	10,554	10,805	9,261	9,818	8,868	49,306	137	360

学生スタッフの育成

コロナ禍においても、継続して学生スタッフを毎学期ごとに公募し、応募者に面接を行い、継続や新規の採用を行ってきた。他大学への研修・視察を行うことは出来なかったが、利用状況に順応した環境づくりや学習相談など行っている。

表3 学生スタッフ学期ごとの人数

	R1前期	R1後期	R2前期	R2後期	R3前期	R3後期	R4前期	R4後期
大学院生	2	1	4	4	6	6	4	2
学部生	7	7	4	5	2	11	11	13

継続している取り組み

平成28年10月に名古屋大学附属図書館を視察して以降、取り入れている本棚は、学習相談で活用できる本を定期的に入れ替えながら本の紹介を行っている。他にも、英語や数学など毎日違った問題を出題している「一日一問」、学生スタッフの心に残った名言を毎日紹介している「一日一文」の作成と掲示、Word, Excel, Power Pointの操作方法で実際に寄せ

られた相談をまとめた「PCに関する相談」、学生スタッフのおすすめ本を紹介した「新着図書情報」の発信、および月2回の「コア通信」の発行は、継続して実施している。

また、当日の司会や書記、話し合うテーマまでを学生スタッフ自身が決める学生スタッフミーティングを毎月実施し、一人一人の悩みの共有や、問題点の相談など、意見を出し合いながらアカデミック・コアの運営を行っている。



図2 一日一問



図3 一日一文

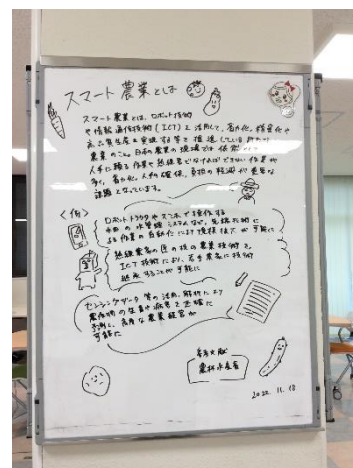


図4 ホワイトボードコラム

学生スタッフによるイベント

先に述べたようにアカデミック・コアでは、学生の「学習の質」を高める工夫として、学習相談や学習支援系のイベントなどを実施している。各学生スタッフの得意分野を發揮した取り組みではあるが、利用者数に比べ学生全体に周知出来ていないのが現状であった。これへの対策として、図書館ツアーに参加する学生に対し、コアの学習支援に関するアンケート調査を実施し、調査から得られた学生のニーズをもとに、学習イベントを開催した。それでもなお、参加したかったができなかったという意見もあるため、今後は、イベントの開催周知を早めに行う必要があると考える。



図5 学生スタッフによるイベント

利用者ルールの周知

現在利用者のルール違反で多く見受けられるのは、食事禁止、荷物による席の確保、ごみを持ち帰らないことがある。対策として、定期的な館内放送や、イベント開催案内の放送時などに注意喚起している。

試験期間に入るとグループ学習室も含め満席の状態になるため、昼食などで30分以上席を外す場合でも荷物を置いて席を確保するケースが出てきた。30分以上席を外している場合は、カードを置いて注意することで、件数を減らすことができたが、20分から30分ほどのケースが出てきたため時間の問題が新たに浮上したため、完全な解決にはまだ至っていない。

グループ学習室の予約

グループ学習室の利用者が増えるにつれて予約状況の問い合わせも増加した。予約状況を見ると、事前予約より、当日の利用申し込み者の方が多い。受付にて予約状況を掲示していたが、もう少し分かりやすいように、掲示版を作成した。



図6 置き引き対策



図7 グループ学習室予約状況

プロジェクターと液晶モニターの活用

アカデミック・コアには、学生が自由に使えるプロジェクターや、液晶モニター（ボックス席に設置）がある。イベント開催時に学生スタッフが利用しているが、アカデミック・コアを利用する学生の中ではあまり活用されていない。もう少し分かりやすく使い方を掲示するなど工夫が必要だと思われる。



図8 プロジェクター



図9 液晶モニター

今後の展望

学生スタッフとして業務を行うことで、課題を見つけ対策を考え実行していく力を身に着けることができる。今後も多くの学生スタッフを採用・育成し、より充実した学習支援を行っていきたい。平成28、29年度に実施した他大学のラーニングコモンズへの研修は、他大学の良さを学び、そこから得たヒントを岐阜大学のアカデミック・コアに反映させることができているため、今後も研修の実施を検討していく。

さらには、現在15名ほどの学生スタッフが在籍し、1人あたり週1回のペースで勤務しているが、これでは、一週間のうち半分ほどの時間しか、カウンターに学生スタッフがない状態となっている。理想を言えば、利用者である学生が、いつ来ても学習相談ができるように学生スタッフを配置したい。予算や学生スタッフ自身の予定（授業時間や実験など）によりシフトが削られることもあるため、これをどう克服していくかが今後の課題である。

【参考文献】

・服部恭子，堀口拓治，高橋悠菜（2019）

「岐阜大学ラーニング・コモンズ開設後4年間の軌跡：その成果と今後の課題」

『岐阜大学教育推進・学生支援機構年報』第5号。

(https://repository.lib.gifu-u.ac.jp/bitstream/20.500.12099/79182/1/sen_090500012.pdf)

【謝辞】

アカデミック・コアの運営を継続して行っていくことができるのは、ひとえに岐阜大学の教職員と学生がその運営に協力し続けてくださっていることによる。

とりわけ本稿執筆に関しては、岐阜大学教育推進・学生支援機構基盤教育センター学修支援部会の先生方、岐阜大学教学事務部門学務部全学連携教育課や岐阜大学図書館の職員の皆様、これまでにアカデミック・コアに勤務された常勤スタッフおよび学生スタッフの方々から有益な助言を頂いた。ここに記して感謝申し上げる。